

# 小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538  
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp

## プロフィール

<生年月日> 昭和 41 年(1966 年)9 月 18 日 <血液型>O 型 <趣味>スキー  
<経歴> 三里塚小一遠山中一千葉日大高一日大理工学部一日大大学院理工学研究科  
平成 7 年成田市議会議員当選 以後 4 期当選 第 34 代成田市議会議長等を歴任  
<現在> 県議会 商工労働企業常任委員会副委員長 議会運営委員会委員



## 改選後初の定例議会 一般質問に登壇

4 月の選挙後初めてとなる定例議会において、早速一般質問に登壇。森田健作知事をはじめ執行部に対して「成田国際空港について」、「鉄道問題について」、「道路整備と維持管理について」、「農業問題について」、「入札不調について」をそれぞれ質問し執行部の姿勢を問いました。

今号では、特に成田市にも大きく関わりのある「成田国際空港について」と、「鉄道問題について」、小池まさあきの主張の一端をお知らせします。

なお、より詳細な内容については、7 月 15 日発行の「県議会リポート」でもご報告させていただきますので皆様のご意見など頂けると幸いです。



本会議初日  
JR 千葉駅前で演説

### 通告 1 「成田国際空港について」 諸問題を解決し更なる機能拡充を！

成田空港の発着容量は最大 30 万回。これに対して昨年の実績は約 23 万回です。この実績に対して県は、30 万回-23 万回=7 万回の余裕があるとした見解を示しています。

しかし、就航先の都合や時差などの関係から混雑するピーク時間帯には常に容量を超える乗り入れ希望があり、実際に受け入れられない状況にあります。

今後も成田空港が我が国の表玄関としての地位を保つためにも、成田空港の抱える諸課題の解決にしっかりと取り組んだ上で、各国からの乗り入れ希望を受け入れられるように空港機能の強化を図らなければなりません。そして県は、これまでの認識を変えて成田空港の第 3 滑走路建設を含めた更なる整備を推進する努力をすべき、と強く訴えました。

### 通告 2 「鉄道問題について」 空港アクセス向上のため都心直結線整備を！

国においては、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」が議論されている中で、千葉県としての主張をしっかりと行っていかなければなりません。

特に成田空港のアクセス向上を目指す上で、成田スカイアクセスの東京駅への乗り入れを実現させる「都心直結線」構想は、多額の整備費用が想定されていますが、千葉県としてしっかりと主張すべきでありその実現に向けた行動をすべき、と訴えました。

これに対して、県として「都心直結線」は成田空港のアクセス向上や沿線地域の発展のためにもその実現を目指さなければならないとの基本姿勢であることが確認されました。また成田空港近くに存在する単線部分の問題についてもその解消の必要性を認めた答弁がありました。

## 商工労働企業常任委員会副委員長、議会運営委員会委員として

今期は県議会に設置されている 8 つの常任委員会の内、「商工労働企業常任委員会」に所属し、副委員長に就任しました。

県の発展の基本である経済政策や観光への取り組み、また成田ニュータウンの造成事業を始め県の発展に貢献してきた企業庁についても活発に議論させていただきます！

そして議会運営の決定権を握る「議会運営委員会」にも自民党会派代表の一人として委員に選任いただきました。議会運営の要であるこの委員会でもしっかりとその責任を果たして参ります！

## 県議会自民会派内に「成田国際空港推進議員連盟」46 名が参加して発足

成田国際空港が「世界の空港間競争の中で勝ち抜けるように機能強化を図らなければならない」と県議会において訴え続けています。

しかし、県内各地においては、アクアラインや圏央道の開通によって国際線が大幅に増便された羽田空港を意識した議論や発言も多くみられる昨今です。

この状況に対して、「千葉県の宝である成田国際空港」という意識の下、成田空港の機能拡充を具体的に進めて、引き続き我が国の表玄関としての地位を守り、千葉県の発展はもとより日本の成長発展にも大きく貢献していくという自負を持つべきと考えています。

そして去る 7 月 3 日、県議会自民党会派内において、成田空港について諸課題の解決を図り更に発展させることを目的として 46 人の議員が結集して「成田国際空港推進議員連盟」が発足しました。会長には現副議長の石橋清孝議員（東金市選出 4 期）が選出され、小池まさあきは、事務局長としてこの組織の運営にあたらせていただきます。地元のため、千葉県のためにも成田空港の諸問題を解決し、更なる機能拡充が必要であると訴えている立場において、これまで以上に取り組みを強化します。

## 公立学校の耐震化 全国平均を下回る千葉県

国は、公立学校施設の校舎等の耐震改修状況を公表しました。小中学校では昨年よりも 3.1%上昇して 95.6%となり、年々耐震化が進んでいることがうかがえます。

しかし、千葉県について全国と比較すると、幼稚園では上回るものの、小中学校、高等学校共に下回る結果となり、取り組みが遅れている結果となりました。また、吊り天井の落下防止

対策については、県内で未だ 231 棟が未実施という現実もありますので、児童生徒の安心安全な教育環境を整備するため、引き続き早期対策の実施を働き掛けていかなければなりません。

公立学校の耐震化率と千葉県の順位

	全国(%)	千葉県(%)	千葉県の 全国順位
幼稚園	86.7	94.9	13
小中学校	95.6	94.3	31
高等学校	93.7	93.1	29

## ごあいさつ

改選後初の定例議会を終えましたが、その責任の重さを改めて感じながら活動し会期を過ごして参りました。

ここに引き続き議席を頂いたことに改めて深く感謝申し上げます。

さて、成田を取り巻く環境は今後、空港を筆頭に大きな変化が予想されます。そのような中で私、小池まさあきは、引き続きふるさと成田の発展と千葉県の飛躍のために精力的に活動して参る所存です。また、情報発信にも鋭意努めてまいりますのでご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

千葉県議会議員 小池正昭

小池まさあきの活動ブログ 毎日更新中

小池まさあき 検索

Facebook と Twitter でも情報発信中！ SNS で小池まさあきと交流してみませんか！